

行財政改革を進め

監査委員の意見

24年度決算はすべての会計が黒字で、各種財政指標も全般的に改善されており、財政運営の健全性が維持されています。景気の低迷や社会情勢の変化による影響で、町税などの収入の落ち込みを見据え、今後も健全な行政運営を望みます。収入未済額は、すべての会計で減少しており、

職員の努力と収納率向上への取り組み成果が表れています。地方分権改革が進む中、本町の財政運営は約8割を地方交付税などの財源に依存している財政構造のため、自主財源の確保は大きな課題です。今後も、収入未済額の削減に向けてより一層の工夫をし、収納確保に引き続き努力するよう求めます。



町長に決算審査意見書を提出する監査委員

●資金不足比率

経営健全化基準は20%で、簡易水道事業、農業集落排水事業、病院会計事業のいずれも資金不足は発生していません。

財政健全化判断比率は「健全」を維持

財政健全化法に基づく、24年度の一般会計や特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

●健全化判断比率

各指標	24年度	23年度	比較
実質赤字比較 (15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比較 (20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率 (25%)	9.4%	11.1%	△1.7
将来負担比率 (350%)	なし	12.6%	△12.6

※各指標の()内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。
※将来負担比率は、将来負担見込額が充当可能な財源の額を下回り、比率なしとなりました。

全会計が黒字

9月定例会

9月定例会は、9月6日から17日までの12日間の会期で開催されました。町長から提出された議案は、24年度各会計の決算認定のほか、25年度一般会計と特別会計の補正予算や条例制定など16件、議員発議案2件が提出され、すべて原案どおり「決定」されました。また、9日に行われた一般質問では2名の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



安全な町づくりを町民に呼びかける 葛巻保育園児 (町民安全大会)

決算の概要

24年度の一般会計と5特別会計の支出額は87億562万円で前年度比5億242万7千円、6.4%増加しました。一般会計は、支出総額63億7365万円で前年度比4億6549万7千円、7.9%増加しました。大きな要因は、地域情報通信基盤施設拡充整備事業などが完了したことによるものです。また、5特別会計の支出総額は、23億3197万円で前年度比5878万円、2.6%増加しました。

24年度会計別の決算状況

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	収支差引額
一般会計	68億7,927万円	63億7,365万円	5億 562万円
国民健康保険事業	11億3,671万円	10億9,101万円	4,570万円
簡易水道事業	1億7,594万円	1億7,206万円	388万円
農業集落排水事業	2億 775万円	1億9,464万円	1,311万円
後期高齢者医療事業	6,883万円	6,508万円	375万円
国保葛巻病院事業	8億5,158万円	8億 918万円	4,240万円
合計	93億2,008万円	87億 562万円	6億1,446万円

24年3月31日現在の基金(貯金)残高は、36億5870万円で前年度比6億849万4千円、23%増加しました。地方債(借入金)残高は、83億8724万円で前年度比3億2418万円、3.7%減少しました。

安心して暮らせる町づくり
総額87億円